

「AIを含めたデジタル技術の進展に対応した著作権等に係る諸課題に関する諸外国調査」について

調査の目的等

生成系AIをはじめとした技術の急速な進歩により、コンテンツの創作、利用の在り方に大きな変化が生じている。これに伴い、著作権法及び他の知的財産法制による保護の在り方についても様々な議論が行われているところ。こうしたデジタル技術の進展に対応した著作権等に係る諸問題について、多角的な観点から調査研究を実施し、我が国の著作権政策の立案に資することとする。

□ 委託先／調査期間 株式会社シード・プランニング／令和6年10月2日～令和7年3月24日

□ 調査対象国 EU、ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ（連邦・各州）、中国、シンガポール、韓国

調査項目

調査内容

①「肖像、声の保護」
と著作権の関係

- ・肖像、声そのものを保護する法制と、その法制に基づく権利又は利益。
- ・法制において保護がされていない場合の、保護する仕組み。
- ・上記のように保護されるに至った背景。
- ・各国の著作権法において、肖像や声が保護される場合は、その制度の具体的な内容。
- ・各国の業界慣行や契約実務上の、肖像や声の保護に関する取り扱い。
- ・AIとの関係での、肖像や声の保護の在り方の検討状況。また、すでに整理済みの場合の取り扱い。
- ・その他、各国における関連する判例や議論の状況について。

②海賊版によって生じる
広告収入に対する規制
等

- ・インターネット上のプラットフォームでの違法行為と疑われる事案が起きた際の、プラットフォームによる間接侵害の有無に対する考え方とその理由。（間接侵害とされる違法行為の種類や、規制の内容）
- ・間接侵害への対応の中で、広告料収入に関する規制の導入、検討状況など。
- ・シェアの大きいプラットフォームによる、違法行為への対処について、自主的又は規制に対応した取り組みの詳細。

③AI技術の進展に
応じた規制の在り方
と訴訟の状況等

- ・AIの研究・開発、サービス提供について、著作権法に基づく法規制の有無。
- ・上記について、著作権法以外の法令に基づく法規制の有無。
- ・AIに対する法規制がある場合は、その概要。（規制されるAIの種類や、規制の内容、など）
- ・AIと著作権をめぐる訴訟の概要。
- ・AIを含め、新しい技術等に関する訴訟において第三者の意見聴取に関する制度の導入状況とその概要。